

10/15 ▶ 10/31 秋の市民火災予防運動

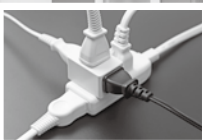
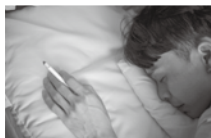
全国統一防火標語『火の確認 いい日を支える いい習慣』

暖房器具を使用する季節が近づいてきました。
器具の安全使用のための事前点検はお済みですか？

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

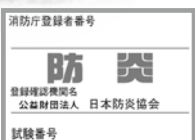
4つの習慣

1. 寝たばこは絶対にしない、させない。
2. ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
3. こんろを使うときは火のそばを離れない。
4. コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



6つの対策

1. 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
2. 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
3. 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防災品を使用する。
4. 火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
5. お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
6. 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。



消防本部 予防課 予防係 ☎23-0420

人のうごき

《総人口》
97,380人（－18）
男性 49,633人（－40）
女性 47,747人（＋22）
《世帯》53,674世帯（＋10）
（ ）内は、前月との比較です。

10・1 現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

ちとせ空港 百年物語 最終回

Vol. 42 村人の夢、私たちの夢

手づくりの着陸場から新千歳空港へ 開港100年の歴史を振り返る

北海道の空の玄関口
「飛行機を間近で見たい」との思いから生まれた小さな着陸場は、時代の経過とともに発展し続け、やがて「北海道の空の玄関口」と呼ばれるようになりしました。

そこには、地学上の適性であったことや、時代が北方の飛行場を必要としていたことなど、さまざまな偶然が存在していたにせよ、その背景にはいつも、空港とこのまちの発展を願う先人の熱意と努力があったことは言うまでもありません。

村民顕彰の碑
市内には、空港の歴史を感じられる場所がいくつかあり、柏台南の空港公園もその一つです。公園内には、着陸場をつくり新千歳空港の礎を築いた先人たちの讃える石碑「村民顕彰の碑」が置かれ、そこにはこう刻まれています。

「鉄振う 村人の夢ここに舞う」
大正末期に千歳村民が手づくりの着陸場に託した夢は、日本の空を支える拠点空港、新千歳空港として実を結びました。

石碑に刻まれた碑文はこの偉業を伝承し続けるとともに、現代に生きる私たちに、夢を持つことの大切さを教えてくれています。

現代の空港編 おわり
ちとせ空港百年物語 完

村民顕彰の碑（空港公園）

9/9 がん予防の普及啓発を推進 コープさっぽろと連携協定



市は新たに生活協同組合コープさっぽろと《がん予防啓発推進に関する連携協定》を締結しました。この協定は、がん予防および早期発見、早期治療による市民の健康的な生活の実現を目指すもので、今回の協定締結によって連携企業は計39社となりました。同組合の苫小牧地区本部長の横山 誠一氏は「店舗でのがん検診や、宅配トドックなどの独自のネットワークを活かして、従来の行政では届きにくい層にも啓発したい」と話し、横田市長は、「日常的に立ち寄り身近な場所ではがん検診を受けられることで利便性が高まり、市民の皆さんの健康医療にもつながれば」と期待を寄せました。

9/13 北海道イエロースターズバレーボールクリニック 失敗を恐れず挑戦を



プロバレーボールチーム「北海道イエロースターズ」が開基記念総合武道館でクリニックを開催し、市内の中学生バレー部員約150人が参加しました。講師として都築選手、久保下選手、吉村選手、木田コーチらが登場。「しっかり止まる」「一気に力を出す」などの動作を意識した練習が行われ、休憩時間にも生徒がプロ選手に練習を願い出る熱心な姿が見られました。指導を行った木田コーチからは「失敗を恐れず挑戦を」とエール。プロの技術を体感した生徒からは、「スパイクが速すぎて腕が間に合わなかったけど、少しずつ見えるようになってきた」と成長を感じる声が聞かれました。



MONTHLY PHOTO
マンスリーフォト
ぐらふ

まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

9/5 楽しく学んで防災力を強化！ 総合防災訓練&防災フェスタ



市民の防災意識の向上や防災への関心を広めることを目的とし、防災学習交流施設（そなえーる）で「千歳市総合防災訓練&そなえーる防災フェスタ」を開催しました。昨年に引き続き、参加者がイメージしやすいよう《知る・伝える》《助ける・守る》《備える》の3つのテーマを設定。中学生以下を対象とした防災シールラリーや、子どもから大人まで楽しめるウルトラ防災クイズなど、体験型の企画が大好評。当日は自主防災組織や町内会、防災関係機関のほか、一般の来場者も含め1,416人が参加。楽しく防災を学びながら、地域全体の防災力を高める有意義な一日となりました。



◀熊本地震の被災地へ JMAT（日本医師会災害医療チーム）として派遣された市民病院職員の出発式も行われました。